

お魚 奉暖丸備え

蒼石清福寺教

却説小山相壽之共就

子一軍費の取援助

と願出之友早速此

承知申す村井銀次

の電報為支のしは

手圖確にあり又作

古亭小山の友

又の控に海之

舟操の盾闘

遊力常と此の



選力業とゆもは高

恩の方分可願いさ

包からすと一層及

すがありさきも一層

援物何年成功即

操りたし茲子権を西

高恩と出禮中

市部の大智の未夕混

戦も分り並ら丸結

与威貝法(口舌存)

高選可也次小山と

か後重平中の中争

が加多流の辛

疎が了一運動も小山

の應戦頗る甚し

陣立小山の方の巻

と整ふ所ちも隠

陣立の小山の方の巻

とて整ふに及ぶる際

此たる口情者も各々方

面よりあしむるに多分

成功すべし存身し就

内元氣よく奮闘

此一役の陣立

小山より下位なる元氣

思ふより口情あり是

本人の十少く元氣

なり此の先き大なる

変化あるに花内と雖

も捨てたものも多

く多考あり激

勵即ありし者も石

敵は禮中ら及中々

いふと頼首

千一十百

出より下位なる一見

思ふより口情を是

本人の心より元氣

なり此の先き大なる

変化のくは花内と能

も捨てたものなり

しを考ふる激

勵即其のしを名

敵出禮中ら及中

二子と頼首

二月十日

六角五助

大隈伯壽

仙壽夫人

因